

北監督署 名北協会 合同で「年末年始安全衛生総点検運動」キャンペーン展開

「家族待つ 年末年始 無災害」をスローガンに「平成21年度年末年始安全衛生総点検運動」が、平成21年12月1日から平成22年1月20日までの間、展開されている。

同運動がスタートした去る12月4日と7日の両日、名古屋北労働基準監督署と名北労働基準協会



工場内パトロール後講評する加藤課長(中央) 中央Ⅱ (株)小牧工場で)

合同の「年末年始安全衛生総点検運動」キャンペーンが実施された。

12月4日は小牧市一帯の事業場約70社を対象にキャンペーンを実施した。当日は北監督署から加藤安全衛生課長ら署員4名、名北協会から池戸専務理事ほか2名が参加、ポスター、点検表、キャンペ



工場長にキャンペーン用品を手渡す池戸専務(中央) (同上)

ーン用品(入浴剤)などを配布、年末年始の安全衛生総点検と災害防止の徹底を要請した。

また、12月7日は名古屋市中区、東区の建設工事現場約30現場を対象にキャンペーンを実施した。当日は北監督署から辻次長、加藤安全衛生課長ら署員5名、名北協会から



建設現場で激励する辻次長(右) (株)竹中工務店名古屋支店 名古屋科学館新築工事で)

池戸専務理事ほか2名が参加、ポスター、点検表、「01災害撲滅宣言」運動関連、キャンペーン用品などを配布、年末年始の安全衛生総点検と災害防止の徹底を要請した。

家族待つ 年末年始 無災害

特に労働災害の多発が懸念される年末年始を迎え、現場でのより一層の労働災害防止への取組みを強化し、厳しい経済環境化においても、安全に對して経費と時間を充分にかけると必要性があると呼び掛けた。



工事現場をパトロールする辻次長(右) (同上)



キャンペーン用品を現場の代表者に手渡す池戸専務(右) (同上)